

## ■ユーザカスタマイズ留意事項・コメントコード (2020.5.19)

本資料は、令和2年度診療報酬改定における「診療報酬請求書の記載要領等について」等の一部改正について」で公開された「別表Ⅰ」、社会保険診療報酬支払基金のホームページに掲載された「令和2年度診療（調剤）報酬改定等に伴う各種マスター仕様及び記録条件仕様の変更等に係るメーカー説明会資料」の「コメントパターンの変更等について」、さらに公開されたコメントマスター及びコメント関連テーブルの仕様変更等からシステムでの対応について解説するものです。

### 1 対応概要

- ①コメントパターン別の入力方法。
- ②診療行為画面の「名称」欄による入力では限界であり専用の入力画面を新設する。
- ③コメント文+入力コメントが最大全角50文字としていたが、入力コメントのみで50文字とする。
- ④レセプト記載及び記録の対応。

### 2 公開マスター主な仕様変更と留意事項

#### 2-1 コメントマスター

- ①コメント文（漢字名称）が最大全角32文字から全角150文字へ拡張
- ②コメントパターンの新設
- ③新規コメントコード経過措置  
レセプト電算データ記録  
32文字以内 令和2年4月診療分から  
32文字超え 令和2年7月診療分から

#### 2-2 コメント関連テーブル

- ①経過措置  
レセプト電算データ記録  
別表Ⅰの「レセプト電算処理システム用コード」欄にコードが記載された項目については、令和2年10月診療分以降該当するコードを選択すること。  
なお、令和2年3月31日以前から適用されているコードについては、令和2年9月診療分まで選択して差し支えないこと。

### 3 コメント入力専用画面の新設

#### 3-1 画面項目（案）

- ・区分（表示）
- ・コメントコード（表示）
- ・コメント文（表示）
- ・コメント内容（入力）
- ・確定ボタン

区分	I 012
コード	830100230
	急性増悪した日から1月以内の連続した7日間に算定した医療上の必要性（精神科訪問看護・指導料）；
コメント（最大50文字）	興奮症状発現が顕著であり、併用薬を含む抗精神病薬の合計投与量の調整を行う必要があるため。
<input type="button" value="確定"/>	

#### 3-2 入力画面表示方法

診療行為画面等から遷移条件と方法は以下とする。

- ①コメントパターン「30」のコメントコードを入力した場合に遷移する。
- ②コメントパターン「30」で撮影部位の場合は原則として遷移しない。
- ③画面遷移するためのトリガは検討中である。

## 4 点数マスタの対応

コメント文 150 文字に対する点数マスタの対応は以下とする。

※4月30日提供コメントマスターでは、最大63文字が存在する。

## 4-1 点数テーブル (tbl\_tensu\_master/tbl\_tensu) への格納方法

コメント文文字数	32文字以下の場合	32文字超える場合
漢字名称	コメントマスターの漢字名称を格納	コメントマスターの漢字名称を32文字以内に短縮したコメント文を格納 (※)
正式名称	空白	コメントマスターの漢字名称を格納

※日レセで作成した名称である。

## 4-2 コメント文の短縮方法

コメント文が32文字を超える場合は、以下の方法で短縮した内容とする。

## 例1 850100005 33文字

糖尿病透析予防指導管理料の算定を開始した年月日 (オンライン診療料)

(案1) 32文字

糖尿病透析予防指導管理料の算定を開始した年月日 (オンライン診療)

(案2) 30文字

糖尿病透析予防指導管理料の算定開始年月日 (オンライン診療料)

## 例2 820100526 63文字

対象手術 (短手1): 皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) 3 長径六センチメートル以上十二センチメートル未満 (六歳未満に限る。)

(案1) 30文字

対象手術: 皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) 3 (六歳未満)

## 例3 850100225 46文字

新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態 治療開始年月日 (運動器リハビリテーション料)

(案1) 31文字

新たに他の疾患別リハを要する状態 治療開始年月日 (運動器リハ)

## 5 入力コメントのテーブル格納方法

※6月下旬パッチで対応予定である。

## 5-1 テーブルスキーマ変更

入力したコメント（全角50文字）を格納する項目を新設する。

項目名：INPUTSTRING（入力文字列）

項目タイプ：Character Varying（200）

格納条件：コメントパターン「30」の場合にデータを格納する。その他のコメントパターンの場合は空とする。

変更するテーブル

- ・入力セット (TBL\_INPUTSET)
- ・患者コメント (TBL\_PTCOM) (TBL\_PTCOM\_PRIV)
- ・ワーク診療行為 (TBL\_WKSRYACT)

詳細は別途「テーブル定義書」を参照してください。

## 5-2 格納方法

①コメント文+入力コメントが全角69文字以内の場合は、INPUTSTRINGは格納なし。

入力コード	名称
113010810	* 薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品投与患者）
830100078	薬剤名（薬剤管理指導料1）； <b>ペプシドカプセル50mg</b>

患者コメントテーブル (tbl\_ptcom) の内容

INPUTCHI1	半角10文字	
~		
INPUTCHI5	半角10文字	
INPUTCOMENT	全角69文字	薬剤名（薬剤管理指導料1）； <b>ペプシドカプセル50mg</b>
INPUTSTRING	全角50文字	

②コメント文+入力コメントが全角69文字を超える場合は、INPUTSTRINGに実際に入力した内容を格納する。

**INPUTCOMENT** には、69文字までの内容を格納する。

入力コード	名称
180008110	* 精訪看（1）（保健師・看護師・週3日目まで30分以上）
830100230	急性増悪1月以内連続7日間必要性（精神科訪問看護・指導料）； <b>興奮症状発現が顕著であり、併用薬を含む抗精神病薬の合計投与量の調整を行う必要があるため。</b>

患者コメントテーブル (tbl\_ptcom) の内容

INPUTCHI1	半角10文字	
~		
INPUTCHI5	半角10文字	
INPUTCOMENT	全角69文字	急性増悪1月以内連続7日間必要性（精神科訪問看護・指導料）； <b>興奮症状発現が顕著であり、併用薬を含む抗精神病薬の合計投与量の調整を行う必要が</b>

INPUTSTRING	全角 50 文字	興奮症状発現が顕著であり、併用薬を含む抗精神病薬の合計投与量の調整を行う必要があるため。
-------------	----------	--

## 6 コメントパターン対応

コメントパターン	入力欄	備考								
10 (フリーコメント)	名称	最大全角50文字 ※C0レコード38文字で分割								
20 (定型コメント文)	—	—								
30 (コメント付加) (撮影部位以外)	名称：文字数制限あり コメント入力画面：50文字									
<p>①「3 コメント入力専用画面の新設」を参照</p> <p>テーブルの格納については、「5 入力コメントのテーブル格納方法」を参照</p>										
30 (コメント付加) (撮影部位)	名称：文字数制限あり (コメント入力画面：50文字)									
<p>入力例 830181200 (撮影部位 (単純撮影) 肩__；)</p> <p>①全角で左右を入力する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入力コード</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>830181200</td> <td>*撮影部位 (単純撮影) 肩__；右</td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は「7 撮影部位対応」を参照 テーブルの格納については、「5 入力コメントのテーブル格納方法」を参照</p>			入力コード	名称	830181200	*撮影部位 (単純撮影) 肩__；右				
入力コード	名称									
830181200	*撮影部位 (単純撮影) 肩__；右									
31 (コメント付加) 診療行為コード	入力コード									
<p>入力例 140005610 (酸素吸入)</p> <p>①診療行為コードを数値9文字で入力する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入力コード</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>831110002 140005610</td> <td>*入院後3日以内に実施した主要な診療行為 (救急医療管理加算2)；酸素吸入</td> </tr> </tbody> </table> <p>診療行為コードに対する入力CD (全て数字に限る) で入力した場合は診療行為コードに変換する。 ※入力CDを入力する場合、数字以外の文字は変換エラーとなる場合がある。</p> <p>テーブル格納 (例：患者コメント)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>INPUTCHI1</td> <td>140005610</td> </tr> <tr> <td>INPUTCOMENT</td> <td>入院後3日以内に実施した主要な診療行為 (救急医療管理加算2)；酸素吸入</td> </tr> </tbody> </table>			入力コード	名称	831110002 140005610	*入院後3日以内に実施した主要な診療行為 (救急医療管理加算2)；酸素吸入	INPUTCHI1	140005610	INPUTCOMENT	入院後3日以内に実施した主要な診療行為 (救急医療管理加算2)；酸素吸入
入力コード	名称									
831110002 140005610	*入院後3日以内に実施した主要な診療行為 (救急医療管理加算2)；酸素吸入									
INPUTCHI1	140005610									
INPUTCOMENT	入院後3日以内に実施した主要な診療行為 (救急医療管理加算2)；酸素吸入									
40 (数字差込)	入力コード	従前通り								
42 (数字付加)	入力コード									
<p>入力例 3</p> <p>①数値を入力する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入力コード</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>842100057 3</td> <td>*通算実施回数 (持続緩徐式血液濾過)；3</td> </tr> </tbody> </table>			入力コード	名称	842100057 3	*通算実施回数 (持続緩徐式血液濾過)；3				
入力コード	名称									
842100057 3	*通算実施回数 (持続緩徐式血液濾過)；3									

## チェック

- ・数字（半角）、+（プラス）、-（マイナス）、.（ピリオド）が入力可能である。
- ・0（ゼロ）は行削除機能のため数値としては入力できない。
- ・編集機能としての+（行挿入）、-（行削除）は機能しない。ただし、入力コード先頭の+（行挿入）は可能である。

## テーブル格納（例：患者コメント）

INPUTCHI1	3
INPUTCOMENT	通算実施回数（持続緩徐式血液濾過）；3

## 50（年月日情報付加） 入力コード

入力例 令和2年4月10日

## ①年・月・日分割入力

入力コード	名称
850100186 502 4 10	*算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月 10日

## ②元号省略入力（令和扱い）

入力コード	名称
850100186 2 4 10	*算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月 10日

## ③西暦年入力

入力コード	名称
850100186 2020 4 10	*算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月 10日

## ④和暦年月日入力（7文字）

入力コード	名称
850100186 5020410	*算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月 10日

## ⑤西暦年月日入力（8文字）

入力コード	名称
850100186 20200410	*算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月 10日

日が不明の場合は「00」で入力する。

日が未入力の場合は「00」に変換する。

各入力方法により入力後、入力コード欄は、502 04 10 と編集して表示する。

入力コード	名称
850100186 502 04 10	*算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月 10日

## チェック

- ・コメントコードの名称に「日」がある場合は「年月日」の入力とし、入力値が令和2年4月以降であれば日の入力がない時に警告を表示する。
- ・コメントコードの名称に「日」がない場合は「年月」の入力とし、日の入力がある時に警告を表示する。

テーブル格納（例：患者コメント）	
INPUTCHI1	502
INPUTCHI2	04
INPUTCHI3	10
INPUTCOMENT	算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月10日

  

5 1（時刻情報付加）	入力コード														
<p>入力例 5時45分</p> <p>①時刻の入力は、時△分で入力する。</p> <table border="1"> <tr> <th>入力コード</th> <th>名称</th> </tr> <tr> <td>851100004 5 45</td> <td>* 検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分</td> </tr> </table> <p>入力後、入力コード欄は、05 45 と編集して表示する。</p> <table border="1"> <tr> <th>入力コード</th> <th>名称</th> </tr> <tr> <td>851100004 05 45</td> <td>* 検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分</td> </tr> </table> <p>チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時は「00」から「24」、分は「00」から「59」の範囲で入力する。</li> </ul> <p>テーブル格納（例：患者コメント）</p> <table border="1"> <tr> <td>INPUTCHI1</td> <td>05</td> </tr> <tr> <td>INPUTCHI2</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>INPUTCOMENT</td> <td>検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分</td> </tr> </table>		入力コード	名称	851100004 5 45	* 検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分	入力コード	名称	851100004 05 45	* 検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分	INPUTCHI1	05	INPUTCHI2	45	INPUTCOMENT	検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分
入力コード	名称														
851100004 5 45	* 検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分														
入力コード	名称														
851100004 05 45	* 検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分														
INPUTCHI1	05														
INPUTCHI2	45														
INPUTCOMENT	検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分														

  

5 2（時間情報付加）	入力コード												
<p>入力例 75分</p> <p>①時間を数値で入力する。</p> <table border="1"> <tr> <th>入力コード</th> <th>名称</th> </tr> <tr> <td>852100007 75</td> <td>* 診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分</td> </tr> </table> <p>入力後、入力コード欄は、00075 と編集して表示する。</p> <table border="1"> <tr> <th>入力コード</th> <th>名称</th> </tr> <tr> <td>852100007 00075</td> <td>* 診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分</td> </tr> </table> <p>チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力値は「1」から「99999」の範囲で入力する。</li> <li>・0（ゼロ）は行削除機能のため入力できない。</li> </ul> <p>テーブル格納（例：患者コメント）</p> <table border="1"> <tr> <td>INPUTCHI1</td> <td>00075</td> </tr> <tr> <td>INPUTCOMENT</td> <td>診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分</td> </tr> </table>		入力コード	名称	852100007 75	* 診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分	入力コード	名称	852100007 00075	* 診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分	INPUTCHI1	00075	INPUTCOMENT	診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分
入力コード	名称												
852100007 75	* 診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分												
入力コード	名称												
852100007 00075	* 診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分												
INPUTCHI1	00075												
INPUTCOMENT	診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分												



90 (修飾語)	—	—
----------	---	---

## 7 撮影部位対応

## エックス線診断

※この機能は令和2年6月診療分以降とする。

入力コード	名称
.700	*画像診断
002000099	肩
170001910	単純撮影（アナログ撮影）
170000410	単純撮影（イ）の写真診断
830181200	撮影部位（単純撮影）肩__；右
700030000 1	大角

## 入力方法

- ①日レセの撮影部位コード（002で始まるコード）を入力（必須）
- ②写真撮影コードを入力
- ③写真診断コードを自動発生
- ④写真診断コードに関係する撮影部位コード（コメントマスター）の選択肢画面を表示
- ⑤撮影部位コードを選択
- ⑥（コメントパターン30の場合）部位の詳細を入力
- ⑦薬剤、フィルムなど必要なものを入力

## 撮影部位コード（コメントマスター）の選択肢画面を省略する方法

点数マスタ登録にて、日レセの撮影部位コード（002で始まるコード）に対応する撮影部位コード（コメントマスター）を設定する。

この設定により、上記入力方法の中で④と⑤が省略できる。

## 【留意事項】

日レセの撮影部位コード（002で始まるコード）に対し、設定可能な撮影部位コード（コメントマスター）は1つである。

例えば、頭部の撮影部位コードをエックス線、CT及びMRIでも共通で使用していた場合は、エックス線の撮影部位コードを設定することを推奨する。

なお、CTとMRIについては、撮影部位コード（コメントマスター）の自動発生はしないので、都度、選択肢画面から選択する方法となる。

170000410	単純撮影（イ）の写真診断	820181000	撮影部位（単純撮影）：頭部
170011710	CT撮影（イ、ロ又はハ以外）	820182000	撮影部位（CT撮影）：頭部
170015210	MRI撮影（1又は2以外）	820183010	撮影部位（MRI撮影）：頭部（脳を除く）
		820183020	撮影部位（MRI撮影）：頭部（脳）

## 8 レセプト対応

## 8-1 患者コメントテーブルとレセプト記載と記録

## 例 1

入力コード	名称
113010810	* 薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品投与患者）
830100078	薬剤名（薬剤管理指導料 1）；ペプシドカプセル 50mg

## 患者コメントテーブル (tbl\_ptcom) の内容

INPUTCOMENT	全角 69 文字	薬剤名（薬剤管理指導料 1）；ペプシドカプセル 50mg
INPUTSTRING	全角 50 文字	

## 摘要欄

13	* 薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品投与患者） 薬剤名（薬剤管理指導料 1）；ペプシドカプセル 50mg 〇〇× 1
----	---

## レセ電

SI, 13, 1, 113010810, 1, , 1, 830100078, ペプシドカプセル 50mg, , 省略

## 例 2

入力コード	名称
180008110	* 精訪看（1）（保健師・看護師・週3日目まで30分以上）
830100230	急性増悪 1 月以内連続 7 日間必要性（精神科訪問看護・指導料）；興奮症状発現が顕著であり、併用薬を含む抗精神病薬の合計投与量の調整を行う必要があるため。

## 患者コメントテーブル (tbl\_ptcom) の内容

INPUTCOMENT	全角 69 文字	急性増悪 1 月以内連続 7 日間必要性（精神科訪問看護・指導料）；興奮症状発現が顕著であり、併用薬を含む抗精神病薬の合計投与量の調整を行う必要が
INPUTSTRING	全角 50 文字	興奮症状発現が顕著であり、併用薬を含む抗精神病薬の合計投与量の調整を行う必要があるため。

## 摘要欄

80	* 精訪看（1）（保健師・看護師・週3日目まで30分以上） 急性増悪した日から 1 月以内の連続した 7 日間に算定した 医療上の必要性（精神科訪問看護・指導料）；興奮症状発現 が顕著であり、併用薬を含む抗精神病薬の合計投与量の調 整を行う必要があるため。 〇〇× 1
----	--

紫：点数テーブル：正式名称

赤：患者コメントテーブル：入力文字列

## レセ電

SI, 80, 1, 180008110, 1, , 1, 830100230, 興奮症状発現が顕著であり、併用薬を含む抗精神病薬の合計投与量の調整を行う必要があるため。 , , 省略

## 例3 エックス線診断

入力コード	名称
.700	*画像診断
002000099	肩
170001910	単純撮影（アナログ撮影）
170000410	単純撮影（イ）の写真診断
830181200	撮影部位（単純撮影）肩__；右
700030000 1	大角

## 摘要欄

70	*撮影部位（単純撮影）肩__；右 単純撮影（アナログ撮影） 1回 単純撮影（イ）の写真診断 1回 大角 62円 1枚 ○○× 1
----	---

## レセ電

SI, 70, 1, 170000410, 1, , 1, 830181200, 右, , 省略

SI, , 1, 170001910, 1, 153, 1, , , , , , , , , , , 省略

TO, , 1, 700030000, 1, 6, 1, 006, , , , , , , , , , 省略

※002000099 は 830181200 が入力されているため削除する。

## 9 カスタマイズ対応

(この章は3月パッチ対応済みである。)

## 9-1 処方箋

プログラム (ORCHC02V04. CBL, ORCHC02QV04. CBL, ORCHCM19V04. CBL) については、INPUTCHI をプログラム内で使用しているため対応が必要である。

01 WRK-SRYACT-ALL-AREA.

(省略)

05 WRK-SRY-INPUTCHI-G.

07 WRK-SRY-INPUTCHI PIC X(10) OCCURS 5.

01 WRK-SRYACT98-ALL-AREA.

(省略)

11 WRK-ALL98-INPUTCHI-G.

13 WRK-ALL98-INPUTCHI PIC X(10)  
OCCURS 5.

01 WRK-SRYACT-ALL-AREA

(省略)

11 WRK-ALL-SRY-INPUTCHI-G.

13 WRK-ALL-SRY-INPUTCHI PIC X(10)  
OCCURS 5.

INPUTCHI は分割調剤で使用しており、未対応の場合は分割調剤を正しく行うことができない。

QRコードの「名称」欄は、最大100バイト(全角50文字)である。

コメントの51文字を超える部分は記録できない。

## 9-2 お薬手帳、入院診療費明細書

お薬手帳(ORCHC62. CBL, ORCHCN62. CBL)、入院診療費明細書(ORCHCN04. CBL)は、INPUTCOMMENT を保存するプログラム内のワーク領域の桁数を増やすとコメント名称70文字の記載が可能である。

## 9-3 その他帳票

その他の帳票については、COPY句の桁数変更での対応となる。

(外来診療費明細書は編集サブルーチンで対応している。)

## 10 その他

## 10-1 API対応

別途資料を参照すること。

## 10-2 パッチ及びマスタ提供予定

現行レセプト処理にて自動記載をしているコメントに対する新設コード対応は、7月下旬からの対応を予定している。

画像診断料の撮影部位コードの対応は、5月下旬を予定している。

その他については、6月下旬を予定している。

※プログラムに関連しないマスタについては、上記予定より前に提供も検討している。